

2023年度 放課後等デイサービス自己評価表（職員向け）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	レ		利用人数や活動の内容に応じて部屋を使いわけている
	② 職員の配置数は適切であるか	レ		適切である。園外活動等は安全に行けるよう、配置人数を増やして対応している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	レ		スロープ、手すり、エレベーターが設置しており、バギー利用児も安全に過ごせるよう、配慮している。危険のないよう確認をおこなっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	レ		職員会議や日々のミーティングの中で意見を出し合い、目標等の見直しを行っている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	レ		アンケートを実施。結果については職員間で把握し改善に向け、話し合う場を設けている。アンケートの結果は保護者にも提示。
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	レ		掲示するとともに、家庭に結果を配布している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		レ	第三者による外部評価は行っていない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	レ		今年度から少しずつ研修にも参加出来るようになり、職員のスキルアップを目指している。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、デイサービス計画を作成しているか	レ		作成時には、相談支援員との連携を図ると共に、家庭より意見・要望を確認した上で計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	レ		アセスメント票や台帳を用いて状況把握をしている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	レ		職員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	レ		新しいことにもチャレンジできるよう意見を出し合ったり、子どもたちからの意見要望も取り入れながら行っている。今年度は絵画教室に取り組み、美術館に飾られた絵を見に行くことが出来良い機会を与えられた。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	レ		平日、長期休暇では利用人数も違うので、プログラムを工夫しながら丁寧に支援できるようにしている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	レ		個別指導の時間を設けている。音楽療法など集団を意識出来る活動も行っている。
	⑮ 支援開始前には職員で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容の内容や役割分担について確認しているか	レ		職員間で送迎の学校や時間等、しっかりと確認している。また、活動の確認や準備を行い、安全に楽しく活動できるよう配慮している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	レ		その日の反省、次の日の確認を行っている。また、改善すべきことがあった際には、しっかりと確認し情報共有を行っている。
	⑰ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	レ		日誌や個人記録を行っている。会議の際には見返し検証・改善につなげている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	レ		前期・後期にわけ2回行っている。課題や目標について職員間でしっかりと話し合い検討している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	レ		生活能力の向上や、社会の交流等に向けて、様々な活動を考え提示し支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	レ		参加した際には、しっかりと報告・連絡・相談を行うよう徹底している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の対応）を適切に行っているか	レ		送迎時に情報交換を行ったり、新年度が始まる際には年間行事予定をいただき、確認をしている。緊急時には連絡がとれるよう連絡先を伝えている。その他、児同士のトラブル等があった際には学校と電話等でも連絡をとりながら情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	レ		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる際には連絡体制を整え安全に過ごせるようにしていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	レ		ひかりの家の卒園児が多いので、情報交換もしっかりと行うことが出来ている。外部からの利用児についても必要に応じて情報交換を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等を提供する等しているか	レ		移行の際には、個人情報に十分気を付けた上で、支援内容等の情報交換を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	レ		しっかりと連携出来ている。
	㉖	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	レ		児童クラブとの関わりは持っていないので、今後検討していく。公園や外出先で職員が仲介しながら順番等を守って遊べるようにしている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	レ		協議会には積極的に参加し情報交換を行い、職員には周知している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	レ		連絡帳や送迎時には情報交換を行い、共通理解が持てるように努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	レ		ペアレント・トレーニングは行っていないが、その都度保護者の方が気になる課題や問題があった際にはアドバイスできるようにしている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	レ		契約時にしっかりと説明している。日々の活動の中で負担していただくことがある際にはその都度説明させていただいている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	レ		相談があった際にはその都度保護者の方とともに問題や課題に向き合っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者回答を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	レ		保護者同士の交流の場がないので機会が設けられるよう検討していく。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しているか	レ		苦情があった際には迅速に対応していく。その際には体制を整備していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	レ		月に一度、月報を発行。ナイトレクレーションやお正月遊び会、音楽療法等の行事についてはその都度お便りを発行している。今年度は50周年を一緒にお祝いすることが出来た。
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	レ		個人情報の取り扱いには十分に気を付けている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているのか	レ		連絡帳や送迎時に情報交換を行っている。子どもたちの様子をわかりやすく伝えるために、写真等を用いている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	レ		クリスマスには地域の就労施設にクッキーのプレゼントを届けに行き交流を持っている。花の日には普段お世話になっている方たちにお花を届けにいった。地域の方と関われる機会を大切にしていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	レ		緊急マニュアル、感染症マニュアル、防犯マニュアルについては周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	レ		長期休暇には避難訓練に参加している。職員は救急法等の研修に参加し万が一に備えている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	レ		虐待防止法の研修に参加している。風通しの良い環境、心配事等は共有出来るように心がけている。
	④⑪	どのような場合に已むを得ず身体拘束をおこなうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	レ		どのような場合でも身体拘束は行わない。身体拘束はせずに安全を確保できるようにしていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	レ		給食やおやつ提供の際には職員間、栄養士、保護者の方としっかりと情報交換を行い安全に十分気を付けている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	レ		ヒヤリハットがあった際には情報交換を行い、同じことが起こらないようにしている。